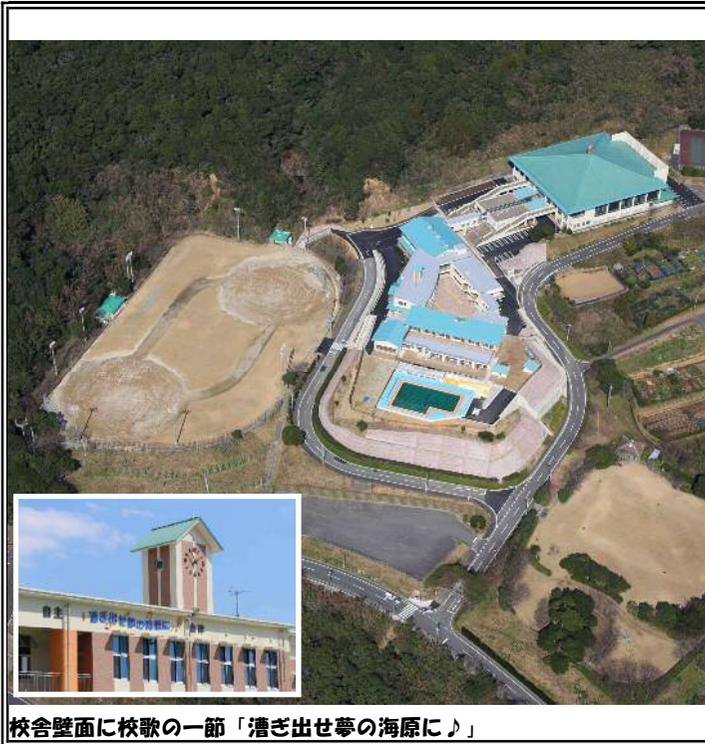


歴史と自然と人が織りなす教育空間

# 南さつま市立坊津学園 (施設一体型小中一貫校) 校舎新築



全景写真

南さつま市立坊津学園(施設一体型小中一貫校)  
▼児童生徒数 小学生89人、中学生64人の計153人(平成25年5月1日現在)  
▼沿革 公園敷地内に校舎、7-ILを建築。既存の体育館等を活用し、県内初の施設一体型小中一貫校、コミュニティ・スクールとして平成25年4月開校  
▼構造等 鉄筋コンクリート造、2階建て、校舎延床面積3996㎡  
▼補助(補助金名称(国県の別)、事業名称、補助金額)  
校舎:公立学校施設整備費負担金(国)、統合、4億2080万円  
7-IL:学校施設環境改善交付金(国)、学校水泳7-IL(屋外)、2787万2千円  
外構(一部):半島特定地域元気おこし事業補助金(県)、1050万2千円



廊下のベンチ  
出会いと語らいの場に



メディアセンター  
図書室とパソコン室を併設



学校運営協議会室を設置  
地域・PTAに開放



前期オープンスペース  
教室前の開放的な空間



開放的な職員室  
児童生徒が来やすい空間に



エレベータを設置  
バリアフリー化を図りました



ランチルーム  
調理室と隣接し機能的



2階バルコニーから  
自然豊かな景観を望む



浄水装置  
7-ILの水を飲料水に

▼設計基本コンセプト 坊津は日本三津とうたわれ、貿易や宗教文化拠点として栄えた歴史ある港街です。その歴史と伝統をふまえ、地域に開かれた学校となるように計画しました。5つの基本コンセプト(耐震化、ICT化、ICT化、バリアフリー化、防災機能強化)に基づいています。  
・回廊式の校舎配置により小・中学生の出会いを演出しました。また、廊下やトイレにもベンチを設置するなど、語らいの場を設けています。  
・図書室とパソコン室を併設し、メディアセンターとしました。学習機能の向上、生涯学習の拠点として活用できます。  
・浄水装置を7-ILに設置しました。災害時に7-ILの水を飲料水用に浄水できます。